

会議名			第五回渋谷区小中一貫教育校（千駄谷小学校・原宿外苑中学校）建て替え準備委員会
日時			2025年7月1日（火）15:00～17:00
場所			原宿外苑中学校 コンピューター室
出席者	事務局（渋谷区）	区	教育委員会事務局次長 未来の学校担当課長 教育政策課 学校施設整備第一係、第二係 計5名
	事務局（事業者）	明豊	明豊ファシリティワークス株式会社 計2名
	渋谷区小中一貫教育校（千駄谷小学校・原宿外苑中学校）建て替え準備委員会 委員等	委員等	原宿外苑中学校 校長、副校長 千駄谷小学校 校長、副校長 鳩森小学校 校長 学校・地域関係者 計21名（欠席：6名）
資料			第五回渋谷区小中一貫教育校（千駄谷小学校・原宿外苑中学校）建て替え準備委員会資料

内 容（カッコ内は発言者） ※発言者は、出席者欄の略称により記載します。	
1. 開会	
<ul style="list-style-type: none"> 半数以上の委員に出席いただいているため、会を開会します。（区） 今回より原宿外苑中の通学区域に入る鳩森小・神宮前小・代々木山谷小の校長、PTA会長にお声かけし、本日は、鳩森小の校長先生、鳩森小PTA会長、神宮前小PTA会長に参加いただいています。（区） 委員長挨拶（原宿外苑中学校 校長） <p>⇒今回から代々木山谷小、鳩森小、神宮前小からも意見をいただくために参加いただきました。是非ご意見を伺いたいと思います。</p> 	
2. 議題	
<p>(1) 建て替え準備委員会スケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> スケジュールの説明を行いました。（区） <p>(2) 第四回建て替え準備委員会の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 第四回建て替え準備委員会の振り返りとして、頂いた意見と検討時期の説明を行いました。（区） <p>(3) 第五回議題</p> <p><基本計画（素案）の説明></p> <ul style="list-style-type: none"> 本日の建て替え準備委員会では基本計画（素案）の説明を行い、委員の皆様からご意見をいただきたいと考えています。また、7月中旬以降アンケートを行い、委員の皆様からのご意見と、アンケート結果により更新した基本計画（案）を次回建て替え準備委員会で説明予定です。12月下旬には取り纏めた基本計画の説明会を実施予定です。（明豊） 基本計画（素案）について、「I.本事業の経緯」、「II.既存施設の現状と課題」、「III.検討過程」、「IV.整備方針」、「V.施設概要」、「VI.事業スケジュール」について、抜粋して説明を行いました。（区、明豊） <p>➤ I.本事業の経緯</p> <p>上位計画や建て替え準備委員会の設置、小中一貫教育校化の目的やメリット、課題と解決策について記載しました。</p> <p>➤ II.既存施設の現状と課題</p> <p>千駄谷小と原宿外苑中の現状の概要や、原宿外苑中の敷地に係る法令やハザードマップや周辺環境の情報及び、これらに対する課題分析と留意事項を整理しています。</p> <p>➤ III.検討過程</p> <p>建て替え準備委員会で検討した内容を記載しました。</p> <p>➤ IV.整備方針</p> <p>渋谷区『新しい学校づくり』整備方針と小中一貫教育校に関する基本理念や基本方針を説明するとともに、小中一貫教育校（千駄谷小学校・原宿外苑中学校）における基本方針を説明しました。更に、施設の利用方針とし</p>	

て、地域開放の方針や一足制について、また防災時の機能として避難所機能について説明しました。

➢ V.施設概要

これまで建て替え準備委員会で意見をいただいた建物・校庭の配置パターンの検討経緯や検討結果を記載しました。

➢ VI.事業スケジュール

先行している広尾中・松濤中の工事期間延伸に伴い、本事業の解体開始時期が遅れることを説明しました。

(質疑応答)

- ・ 小中一貫教育校の開校時期は確定していないですか。（委員等）

⇒先行して建て替えを行っている広尾中・松濤中の工期が3年半程度に延伸しており、規模が更に大きな本計画では4年程度の工期になるのではと想定しています。今後設計業務が始まりますが、設計が終わらないと開校時期は明確にはなりません。（区）

- ・ 小学校入学時から千駄谷小と原宿外苑中の小中一貫教育校を選択できるようになり、小中一貫教育校への入学希望者が増加した場合、鳩森小の建物自体の計画は小さくなりますか。（委員等）

⇒近隣のマンション建設状況や学区域の児童数で規模を設定することになりますが、現時点で規模を小さくする予定はありません。（区）

- ・ R15年頃に小中一貫教育校が開校すると想定した場合、小中一貫教育校に通いたい子供はR8～9年頃から千駄谷小を選択することになります。鳩森小の児童数が減ってしまう可能性についてはどう考えていますか。（委員等）

⇒小学校については、通学距離の短さから地元の学校を選ぶ子供も多くいると考えています。一方で、小中一貫教育校に通わせたいという保護者も一定数いることから、幅広く選択できるようにすることが必要だと考えています。（区）

- ・ 千駄谷幼稚園、千駄ヶ谷保育園は存続されますか。また、これらの園に通っている園児は、今後も学区外でも千駄谷小を選択することは可能ですか。（委員等）

⇒千駄谷幼稚園と千駄ヶ谷保育園は、現在、幼保一元化施設（千駄谷なかよし園）として運営しています。幼保一元化施設の今後の方向性については、学校の建て替え計画とあわせて検討してまいります。千駄谷なかよし園から千駄谷小学校への入学については、小中一貫教育校の学校選択と合わせて検討してまいります。（区）

- ・ 千駄谷小を代替校舎として使い続けることになっていますが、老朽化がかなり進んでおり補修の必要があると思います。（委員等）

⇒耐震補強等は既に行っていますが、補修など改修工事は必要なものと考えています。また、既存校でも未来の学びが体現できる環境づくりを行っていきます。（区）

- ・ 上層階の体育館は避難所として機能しますか。（委員等）

⇒上層部に体育館を設けている事例があり、耐震安全性も建築基準法の1.25倍、非常用発電機を設け停電時もエレベータを利用可能とする予定です。また、体育館だけではなく、1階にも避難スペースを設けるなど対応していきたいと考えています。（区）

⇒上層階の体育館と1階への避難者の仕分けは、区の職員ではなく町会で行うことになります。避難所として使うのであれば、町会が対応できるようにすべきと考えます。（委員等）

⇒避難スペースの活用や運営について、皆様の意見も参考に再度検討させていただきます。（区）

- ・ 小中学校を一緒に敷地内で小中一貫教育校にする意義があれば教えてください。（委員等）

⇒小学校と中学校が緩やかにつながり、ギャップをなくせる、小学校と中学校の先生が児童・生徒を見ることができるなど、教育上のメリットが大きいと考えています。（区）

⇒中学で私学に行く子供がいる中、どのくらいの入学者を想定し、どの様な付加価値がある計画なのかが示されていると、小中一貫教育校を作っていく考えが理解しやすくなると思います。区民が利用すること、避難所としても活用していくことも示していくと納得感があると思います。（委員等）

⇒上位計画や人口推計を見て計画をしています。魅力的な公立校をつくり、私学への進学を考える子供にも公立校に目を向けてもらうことも考えています。（区）

- ・ 小中一貫教育校になることでより良い環境になることが保証されている必要があると思います。未来の学校プロジェクトは素晴らしいですが、考え方抜いたビジョンが必要だと考えます（委員等）

⇒区の考えが伝わるようにご説明をしながら、進めていきたいと思います。（区）

<アンケートの実施について>

- ・保護者や地域の思いを把握し、今後の設計を進める際の参考とすることを目的に、WEB アンケートを 7 月中旬以降から約 2 週間の期間で実施する予定です。（区）
- ・近隣住民の方々へのポスティングによる周知の他、Home & School やコドモンによる区立小中学校や幼稚園、保育園への周知、近隣の私立幼稚園・保育園への配布による周知を予定しています。（区）
- ・アンケート内容は、建て替えにあたり、大切であると思われる項目を 6 つの中から 1 つを選んでいただくほか、自由記述欄を設けています。（区）

(質疑応答)

- ・保育園に通っていない家庭にもアンケートを実施したほうが良いと思います。（委員等）
- ・ポスティングに関して、学校敷地から 60m では範囲が狭いと考えます。（委員等）
⇒工事に関して特に影響があると考えられる敷地周辺の方に対しては、直接ポスティングを行いたいと考えています。（区）
⇒学校は教育の場ではありますが、地域の大切な施設でもあります。ある程度範囲を広げ、アンケートを取るべきだと思います。（委員等）
- ・アンケートの周知範囲は広げる方向で、再検討します。（区）

(4) 次回の主な議題について

<アンケートの結果について>

- ・次回は、アンケートの結果のご報告と、本日のご意見などを反映させた「基本計画（案）」のご説明を予定しています。

4. 閉会

- ・第六回建て替え準備委員会は、本日頂いた意見を踏まえて設定します。（区）